

現場 癸 富士山レンジャー REPORT

第8回

冬のレンジャー活動とは？

冬の時期、富士山レンジャーは冬眠していると思う人が多いのか「冬は活動をしているの」というような質問をよく受けます。そんな疑問に答えるために、富士山レンジャーの冬の活動について紹介します。

① 情報整理

冬の時期は活動に占める事務作業の割合が少し増えます。約一年半のレンジャーの活動で多くの情報が蓄積されてきました。しかし、情報というものはどんなに多くあっても整理されていないと役に立ちません。冬は、夏にどこでどんな事案が起こったか等の情報を整理して、来年度の活動を充実させるための準備を行っています。今までは、手作業で過去の活動報告書を調べて情報をまとめていました。今年からは、より効率的に情報をまとめられるように情報のデータベース化を進めています。

② 巡回活動

雪が降る冬の時期はどうしても、巡回ができる場所が限られてしまいます。冬の時期は、山麓部に巡回の重点を移して活動をしています。夏と違い利用者の少なくなる冬の時期は施設の点検や整備に重点をおいた巡回活動(写真1)を行っています。冬の巡回活動の一つに東海自然歩道の巡回があります。

富士北麓地域では山中湖村から富士河口湖町(旧上九一色村)までの区間を東海自然歩道が通っています。東海自然歩道には案内標識等が設置されているのですが、中には老朽化しているものもあります。利



写真1 案内標識の点検

用者の多い場所を中心に歩道の状況や案内標識の状態を確認するために東海自然歩道の巡回を行っています。

雪などによって巡回の回数が減る冬の時期ですが、なるべく外に出て活動するように心掛けています。

③ 教育活動

時間のある冬の時期は富士山の自然や環境問題について理解を深めてもらうための教育活動にも力を入れています。富士山ボランティアセンターの実施している「富士山環境学習支援プログラム」の講師として、小学校などの教育機関を対象にした環境教育をおこなってきました。さらに、民間企業の研修などで使えるプログラムを開発中です。より質の高い環境教育を目指して、今まで使ってきたプログラムの改善などもおこなっています。これまでの巡回活動等で得た情報を加えてより新しい情報を伝えられるように心掛けています。

また、講師として話をする以外にも富士ビジターセンター内の一角には、富士レンジャーの活動や富士山の現状を知ってもらうように展示コーナーを作っています。

こんなものをみつけたよ 冬に輝く富士山の魅力

1月から2月にかけて富士北麓はもっとも寒いシーズンとなります。平均気温が氷点下に落ち込む「極寒」の富士北麓ですが、冬ならではの魅力もたくさんあります。夏に歩きた場所でも冬では驚くほど雰囲気の違い、雪に覆われた森や霜柱など小さな発見に沢山出会えるのも魅力です。(写真) また、冬の野外にはこんなメリットもあります。①晴れて楽しい1月・2月の晴天率は70%にもなります。空気も澄み、雪化粧をした富士山が間近に見られるでしょう。②静かで楽しい冬のハイキングコースはとても静かです。自分のペースでのんびりと楽しむことができます。③撮って楽しい富士山はもちろん、葉が落ち、見通しのよくなった森は野鳥の撮影にも最適です。運がよければ動物たちにも会えるかもしれません。ポケットにカイロと好奇心を入れて、冬の野外に出てみませんか？



写真上 吉田口登山道馬返しの様子



写真下 成長した霜柱(山中湖大平山にて)

注意！

冬に富士山周辺のハイキングコースに行く場合は、こんなことに注意しましょう

- 登山道は凍りついています。頑丈なハイキングシューズに滑り止め(アイゼン等)は携行しましょう
- 日が短くなっています。余裕のある日程を組み、ライトを忘れずに！
- 十分な防寒対策を！帽子・手袋・靴下などによる末端の保温が効果的です。
- なるべく単独行は避け、緊急時の連絡手段として携帯電話等を携行するようにしましょう。

